

5. むすび

東北大学は代表機関として、参加機関と協力して火山研究人材育成に関するコンソーシアムの構築をすすめた。平成 28 年 10 月の事業開始後に人材育成運営委員会、事務局を設立し、人材育成運営委員会の規定を整備し、平成 29 年 2 月には開校式を行い、学部 4 年生から博士課程 1 年生までの計 36 名を、本コンソーシアム事業によるプログラムの受講生として認定し、教育プログラムも開始することができた。また、本プログラムの担当者の多くが直接的に関わる、次世代火山研究・人材育成総合フォーラム（第 1 回）や、災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の成果報告シンポジウムを利用した、火山学セミナーにも多くの受講生が聴講した。3 月には、霧島山において地球物理学的観測方法および地質・岩石学的調査に関するフィールド実習を、21 名の受講生と 10 名のスタッフで行った。以上のように、初年度のコンソーシアム事業の整備が終わり、教育プログラムを運営して行く上での最低限の体制はほぼできあがった。また、受講生にもいくつかの教育プログラムを提供するとともに、改善点の指摘も得た。次年度以降には、地方自治体等のコンソーシアムへの参画の拡充をはじめ、体制をより整備するとともに、多様な分野の火山学セミナーを提供することを計画している。